

第 22 回岐阜市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 次第

日時 令和 4 年 12 月 23 日（金）

1 発生状況について

資料 1

2 岐阜県の対応について

資料 2

【配布資料】

資料 1 岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について(R4.12.22 公表時点)

資料 2 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会(第 52 回)対策本部本部員会議(第 64 回)

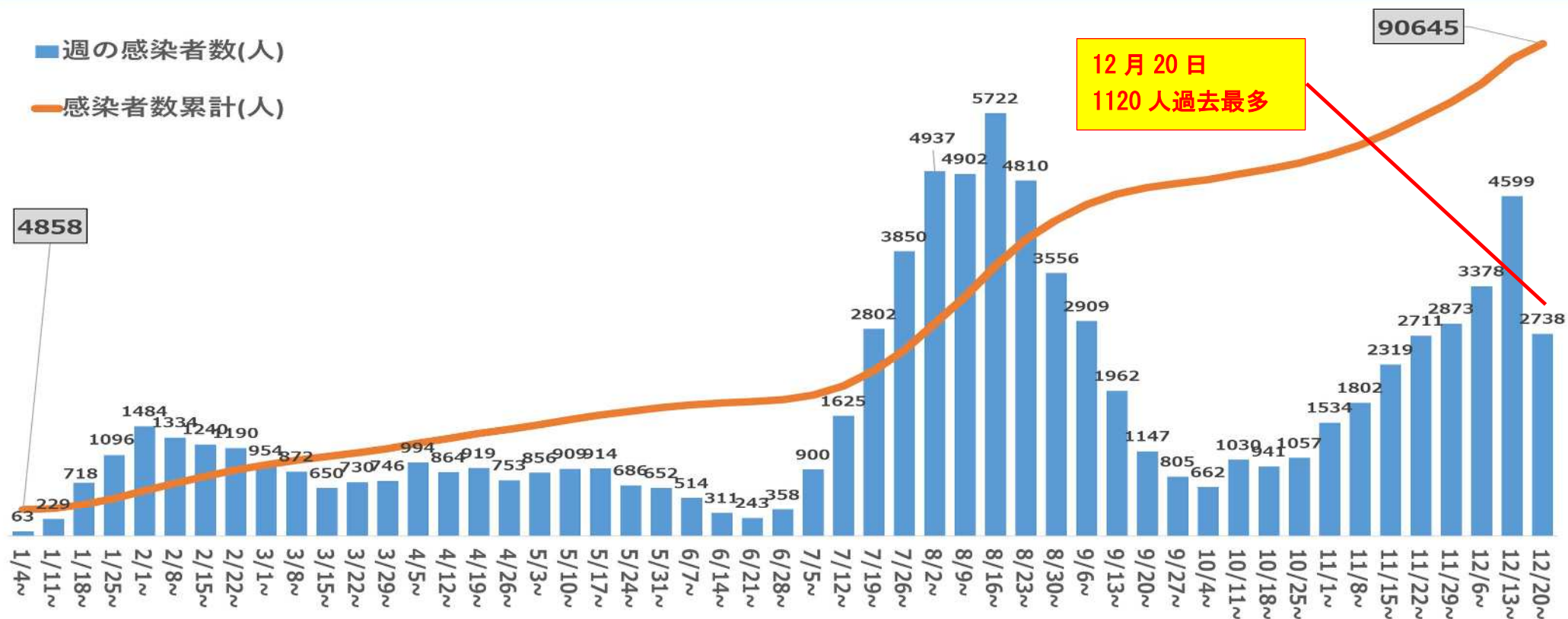
岐阜市における新型コロナウイルス感染症の感染者の発生状況について（R4. 12. 22 公表時点）

1 感染者数推移（週計）

- ・ **累計90,645人**の感染者が発生。（9/27以降は、岐阜県が公表した「県内居住地別陽性者数」のうち、居住地が岐阜市である陽性者数）
- ・ 一週間の人口10万人あたりの感染者数は、12/16～12/22の一週間において**1,205.54人**となった。

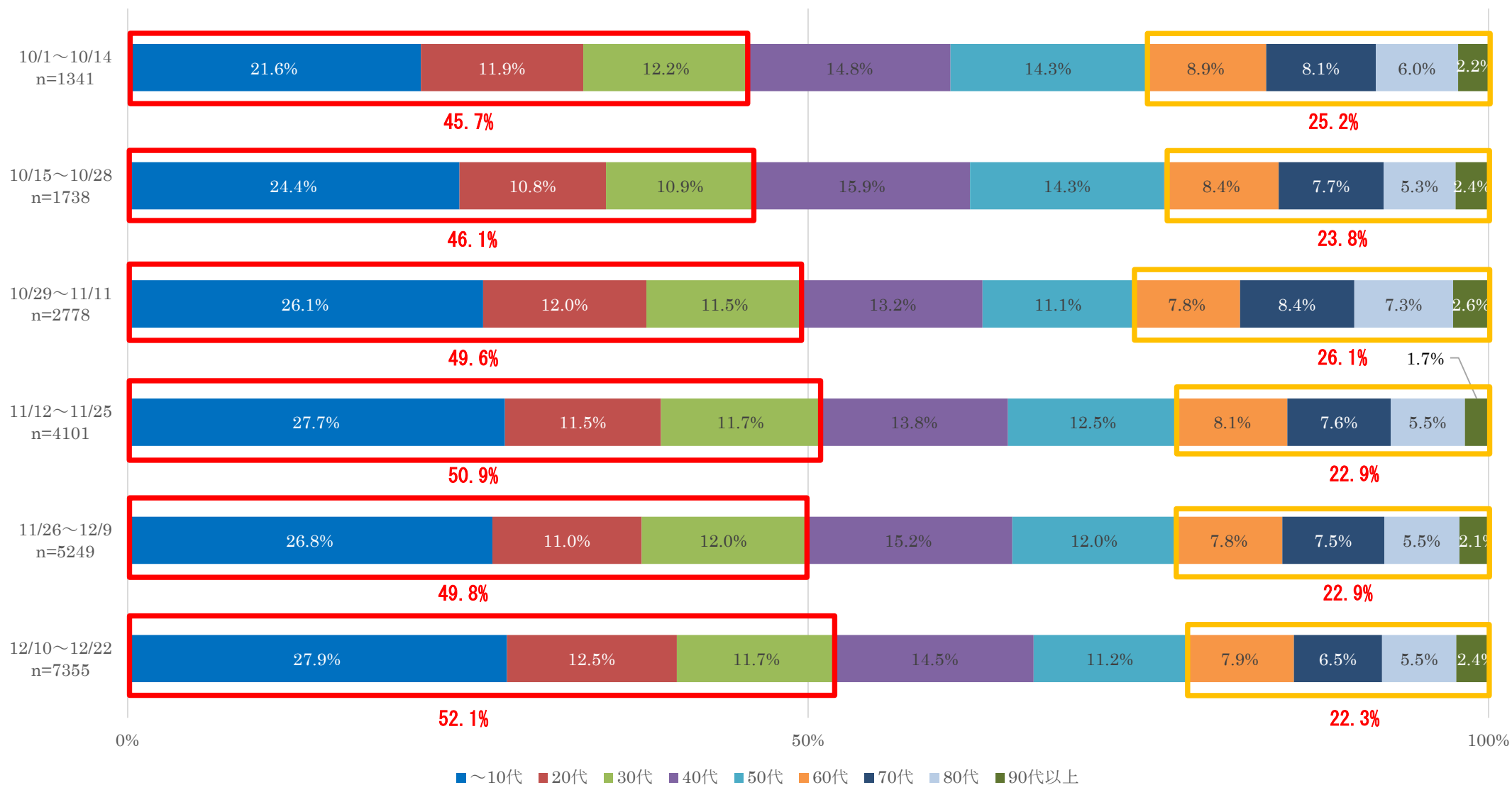
参考（12/16～12/22での比較） 全国：869.88人 岐阜県：1108.89人 愛知県：915.69人（厚生労働省公表資料より算出）

一週間あたりの新規感染者数の推移（R4）



2 年代別割合の比較（令和 4 年 10 月以降）

・30代以下が52.1%、60代以上が22.3%となっている。



※割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない場合があります。

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第 5 2 回）
対策本部本部員会議（第 6 4 回）

日 時：令和 4 年 1 2 月 2 3 日（金）

1 3 : 3 0 ~

場 所：県庁 4 階 特別会議室

- 1 感染状況 資料 1
- 2 現在のレベル判断 資料 2
- 3 岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言（案） 資料 3

**岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会（第52回） 対策本部本部員会議（第64回） 出席者名簿**
日時：令和4年12月23日（金）13：30～
場所：岐阜県庁4階 特別会議室

1 市町村

市名	氏名等	備考	町村名	氏名等	備考
岐阜市	中村 こず枝 保健衛生部長兼保健所長	T V	岐南町	小島 英雄 町長	T V
大垣市	石田 仁 市長	T V	笠松町	古田 聖人 町長	T V
高山市	田中 明 市長	T V	養老町	川地 憲元 町長	T V
多治見市	古川 雅典 市長	T V	垂井町	早野 博文 町長	T V
関市	尾関 健治 市長	T V	関ヶ原町	西脇 康世 町長	T V
中津川市	青山 節児 市長	T V	神戸町	藤井 弘之 町長	T V
美濃市	武藤 鉄弘 市長	T V	輪之内町	木野 隆之 町長	T V
瑞浪市	工藤 雄一 生活安全課長	T V	安八町	堀 正 町長	T V
羽島市	松井 聡 市長	T V	掛斐川町	岡部 栄一 町長	T V
恵那市	小坂 喬峰 市長	T V	大野町	武藤 貞雄 副町長	T V
美濃加茂市	藤井 浩人 市長	T V	池田町	岡崎 和夫 町長	T V
土岐市	加藤 淳司 市長	T V	北方町	戸部 哲哉 町長	T V
各務原市	浅野 健司 市長	T V	坂祝町	林 英直 総務課長	T V
可児市	坪内 豊 企画部長	T V	富加町	板津 徳次 町長	T V
山県市	久保田 裕司 副市長	T V	川辺町	佐藤 光宏 町長	T V
瑞穂市	森 和之 市長	T V	七宗町	加納 福明 町長	T V
飛騨市	湯之下 明宏 副市長	T V	八百津町	瀬瀬 幸美 副町長	T V
本巣市	藤原 勉 市長	T V	白川町	安江 章 副町長	T V
郡上市	日置 敏明 市長	T V	東白川村	桂川 憲生 副村長	T V
下呂市	山内 登 市長	T V	御嵩町	渡邊 公夫 町長	T V
海津市	近藤 康成 健康福祉部長	T V	白川村	成原 茂 村長	T V

2 各種団体

団体名	氏名等	団体名	氏名等
岐阜県医師会	伊在井 みどり 会長	岐阜県中小企業団体中央会	川本 敏 専務理事
岐阜県歯科医師会	杉山 勝治 専務理事	岐阜県経済同友会	武藤 国策 専務理事
岐阜県薬剤師会	有川 幸孝 専務理事	岐阜県商店街振興組合連合会	日比野 豊 理事長
岐阜県病院協会	富田 栄一 常務理事	岐阜県農業協同組合中央会	櫻井 宏 会長
岐阜県看護協会	青木 京子 会長	大垣銀行協会	竹中 哲夫 公務金融部長
岐阜県観光連盟	服部 敬 常務理事	日本政策金融公庫 岐阜支店	瀬瀬 和人 支店長
岐阜県経営者協会	安藤 正弘 専務理事	商工組合中央金庫 岐阜支店	藤井 武重 次長
岐阜県商工会議所連合会	村瀬 幸雄 会長	岐阜労働局	森崎 泰行 職業安定課長
岐阜県商工会連合会	野原 茂基 専務理事		

3 専門家

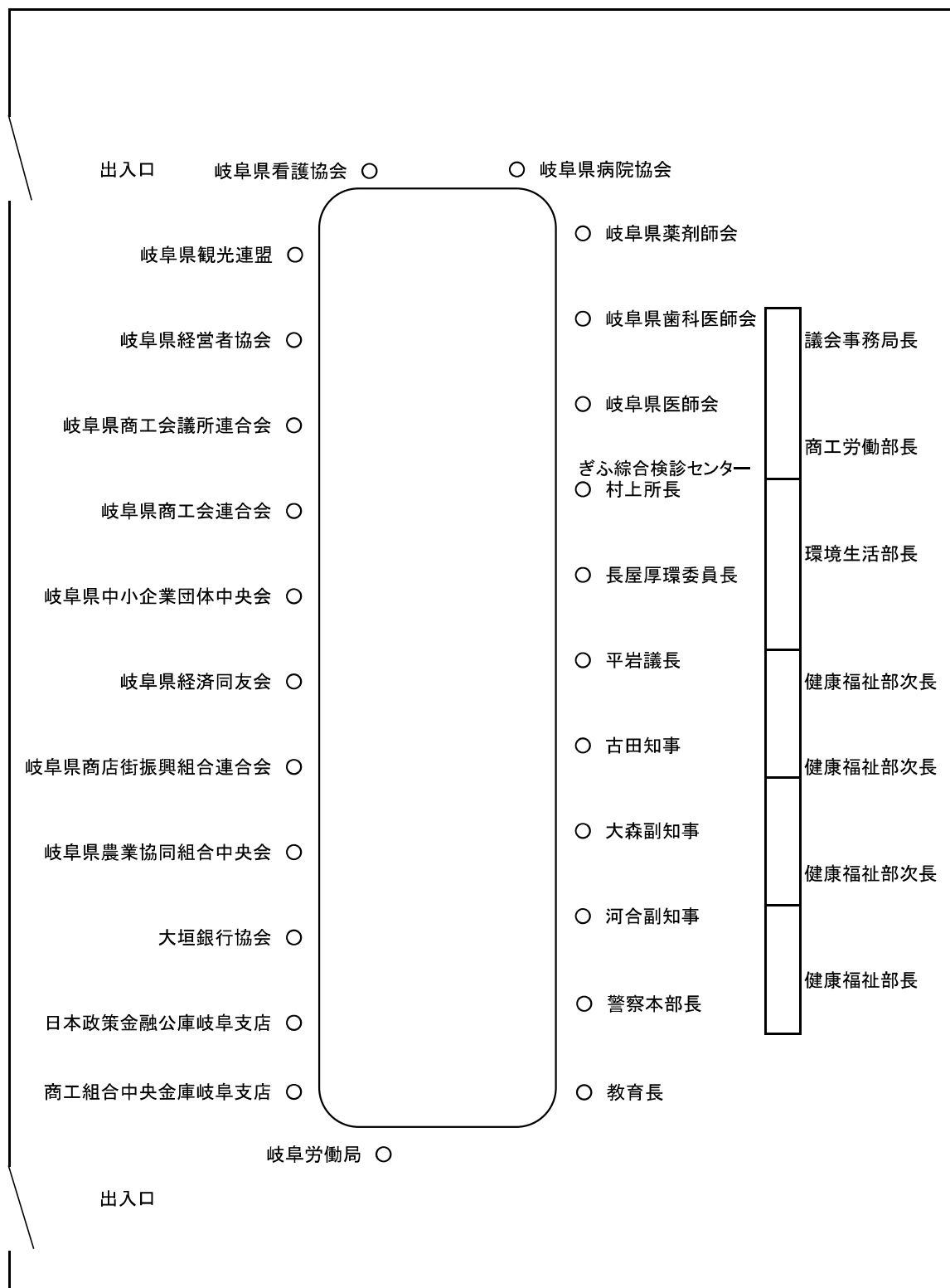
所属名	氏名等
ぎふ総合健診センター	村上 啓雄 所長

4 県

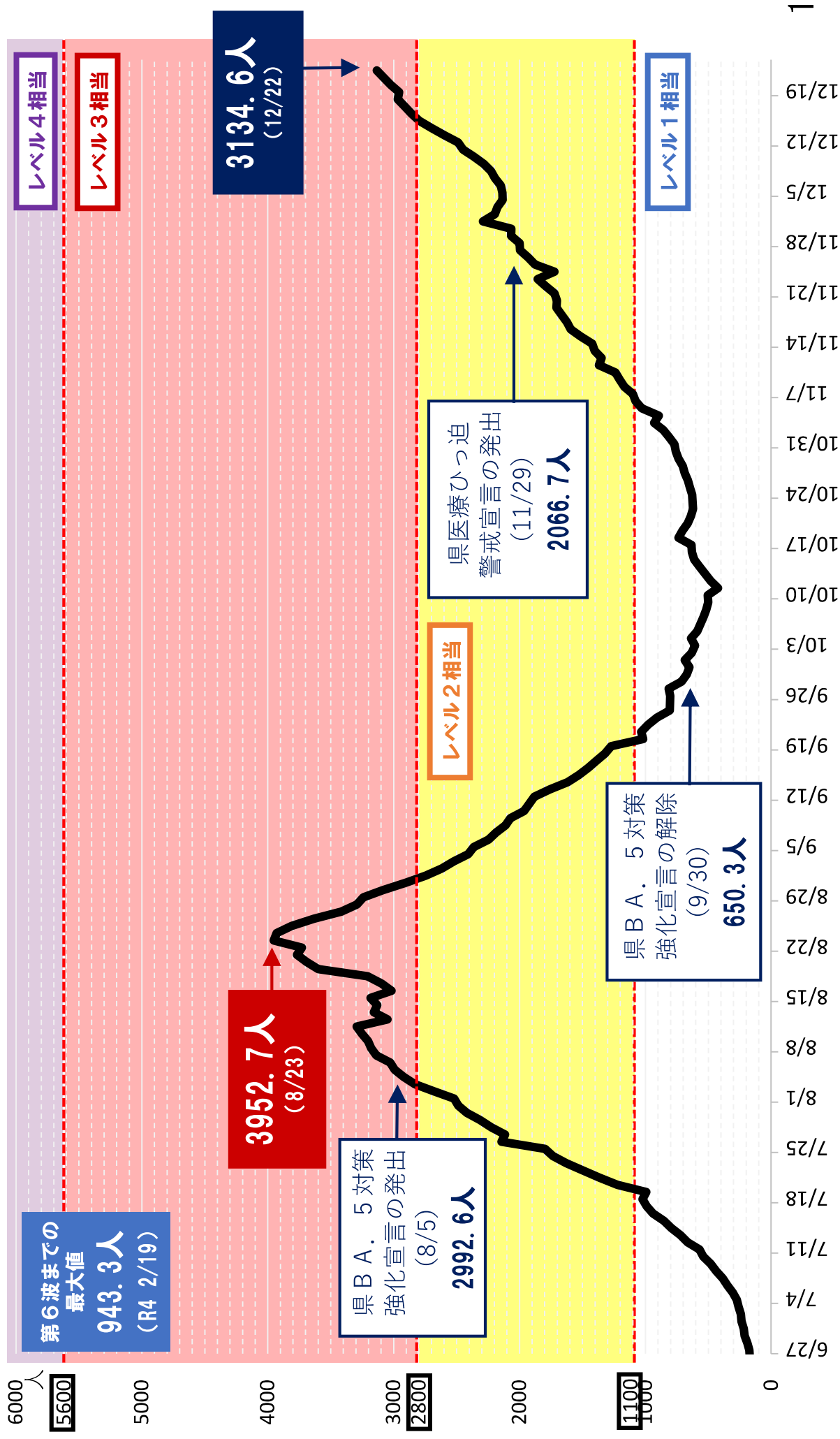
	氏名		氏名
知事	古田 肇	健康福祉部長	堀 裕行
議長	平岩 正光	子ども・女性局長	村田 嘉子
厚生環境委員会委員長	長屋 光征	商工労働部長	崎浦 良典
副知事	大森 康宏	観光国際局長	丸山 淳
副知事	河合 孝憲	農政部長	雨宮 功治
警察本部長	加藤 伸宏	林政部長	高井 峰好
教育長	堀 貴雄	県土整備部長	大野 真義
会計管理者	北川 幹根	都市建築部長	野崎 眞司
秘書広報統括監	高橋 洋子	都市公園整備局長	舟久保 敏
総務部長	尾鼻 智	議会事務局長	山口 義樹
清流の国推進部長	長尾 安博	人事委員会事務局長	田中 誠司
デジタル推進局長	市橋 貴仁	監査委員事務局長	大脇 哲也
危機管理部長	内木 禎	労働委員会事務局長	樋口 博久
環境生活部長	渡辺 正信	健康福祉部次長	渡辺 幸司
県民文化局長	籠橋 智基		

岐阜県新型コロナウイルス感染症
対策協議会(第52回) 対策本部本部員会議(第64回) 配席図

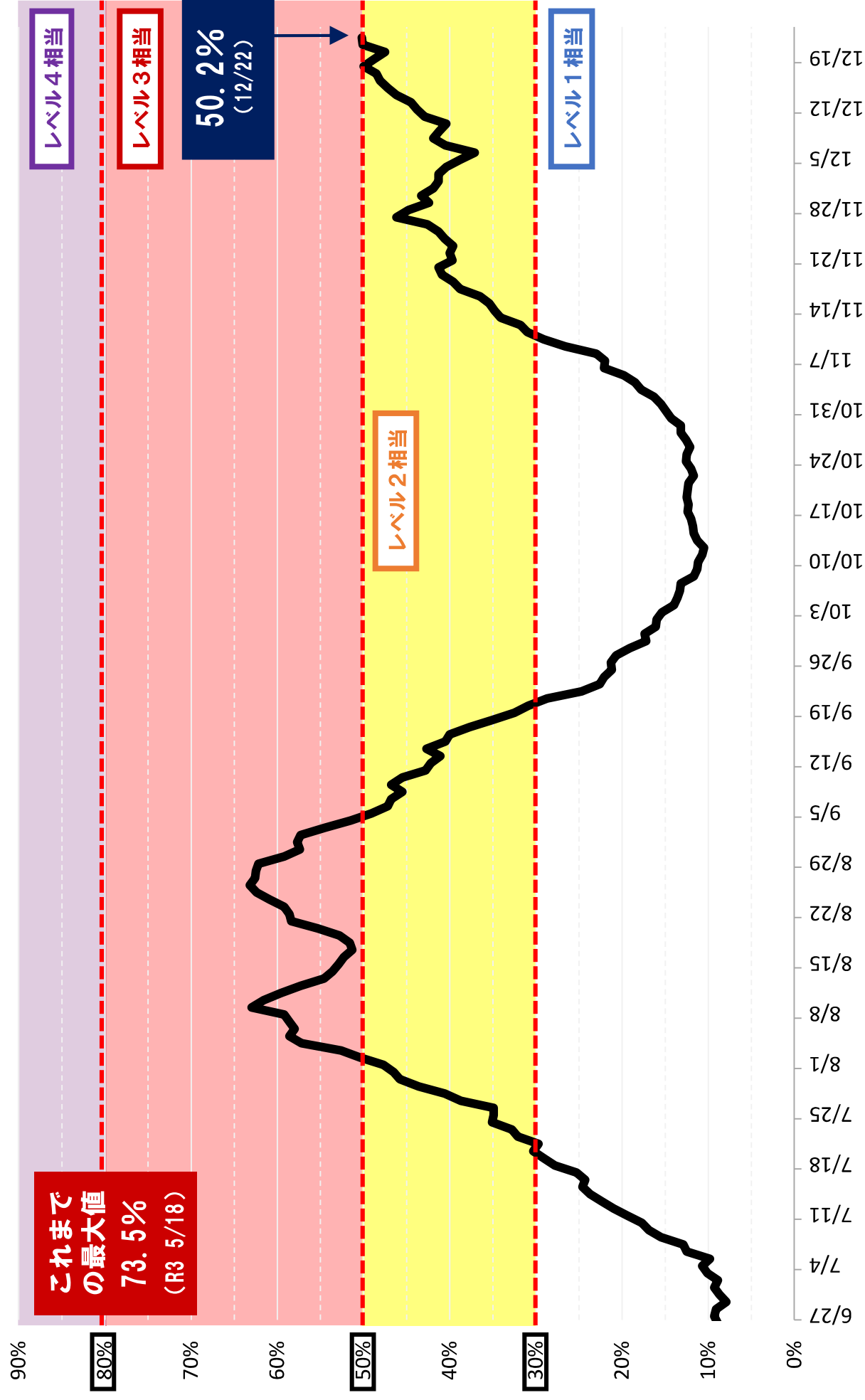
令和4年12月23日(金)13:30～
4階特別会議室



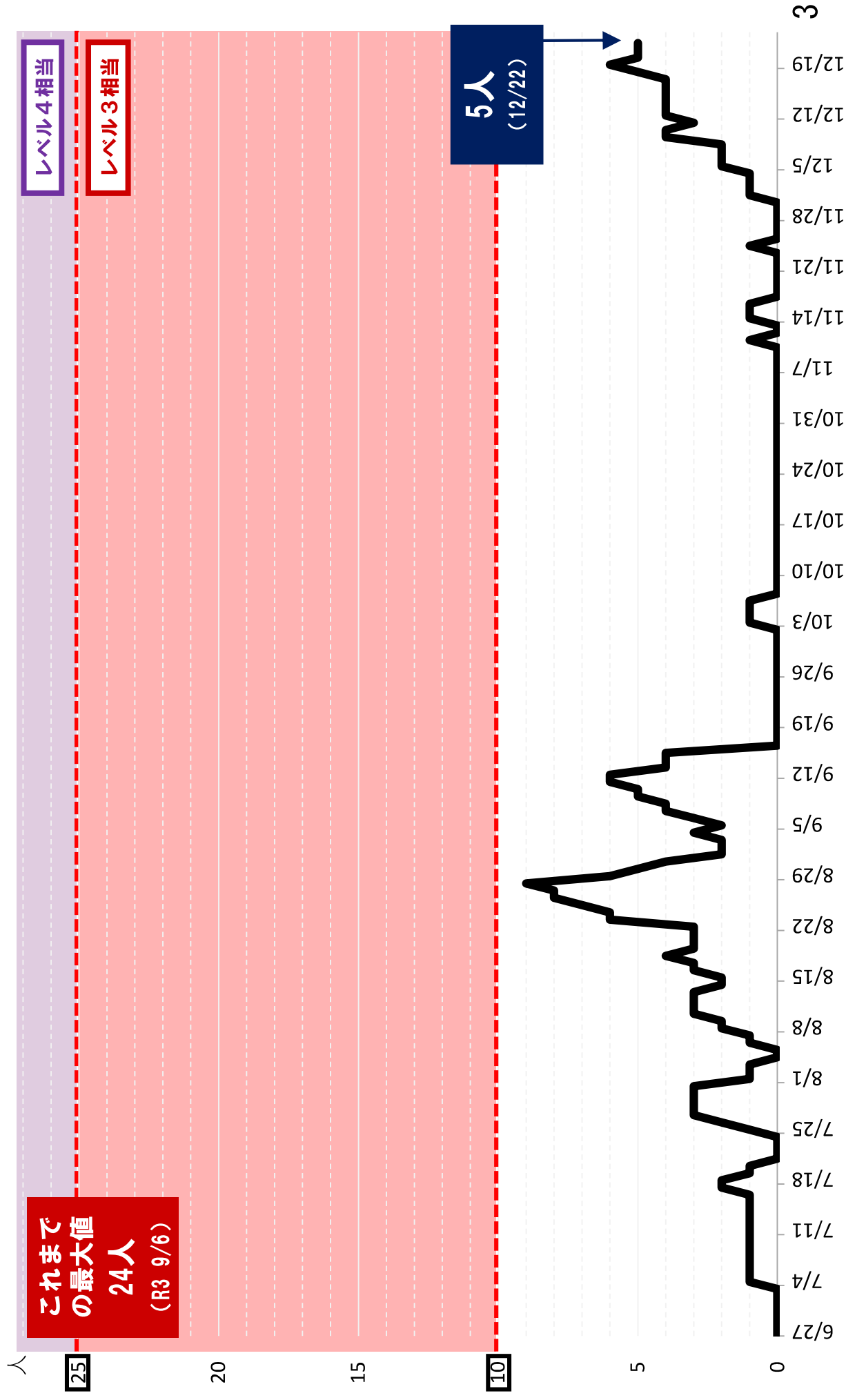
1日あたり新規陽性者数（1週間平均）の推移



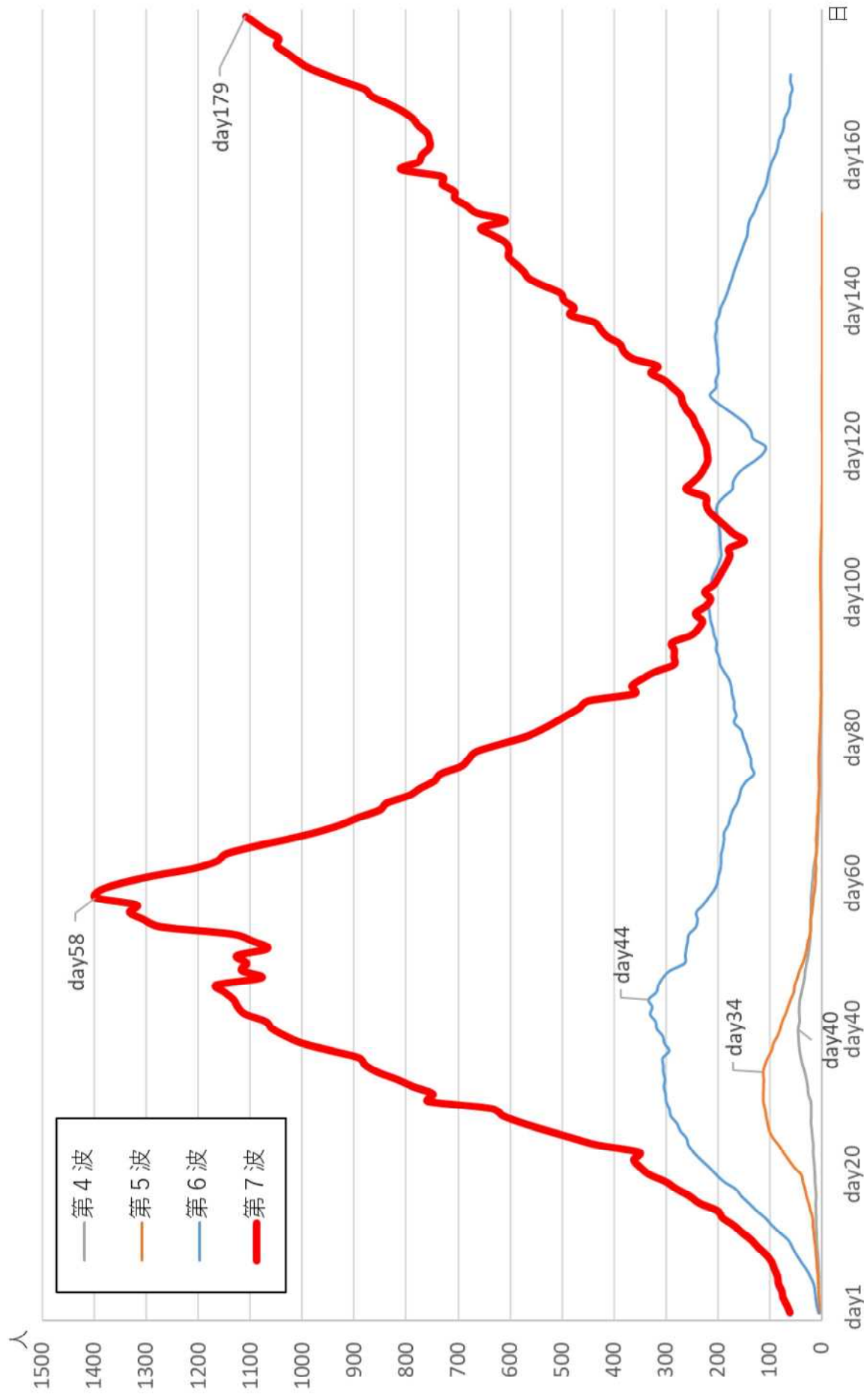
県の病床使用率の推移



重症者数の推移



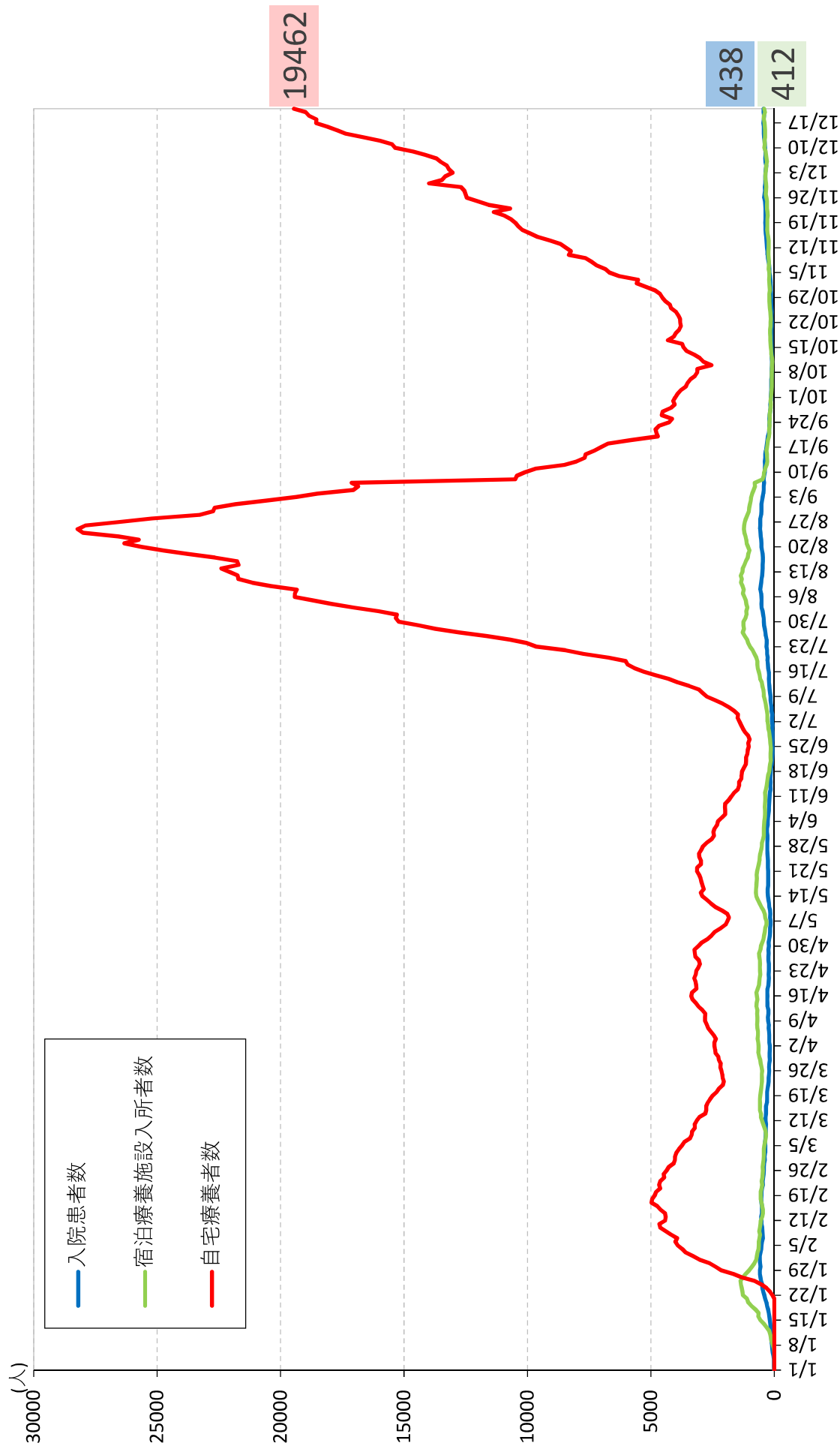
第7波と過去の波との比較 (新規陽性者数(10万人対、7日間移動合計))



※各波において、新規陽性者数（10万人対、7日間移動合計）が初めて5人を上回った日をday1として整理（ただし、第7波は波の初日をday1とする）

療養者数の推移

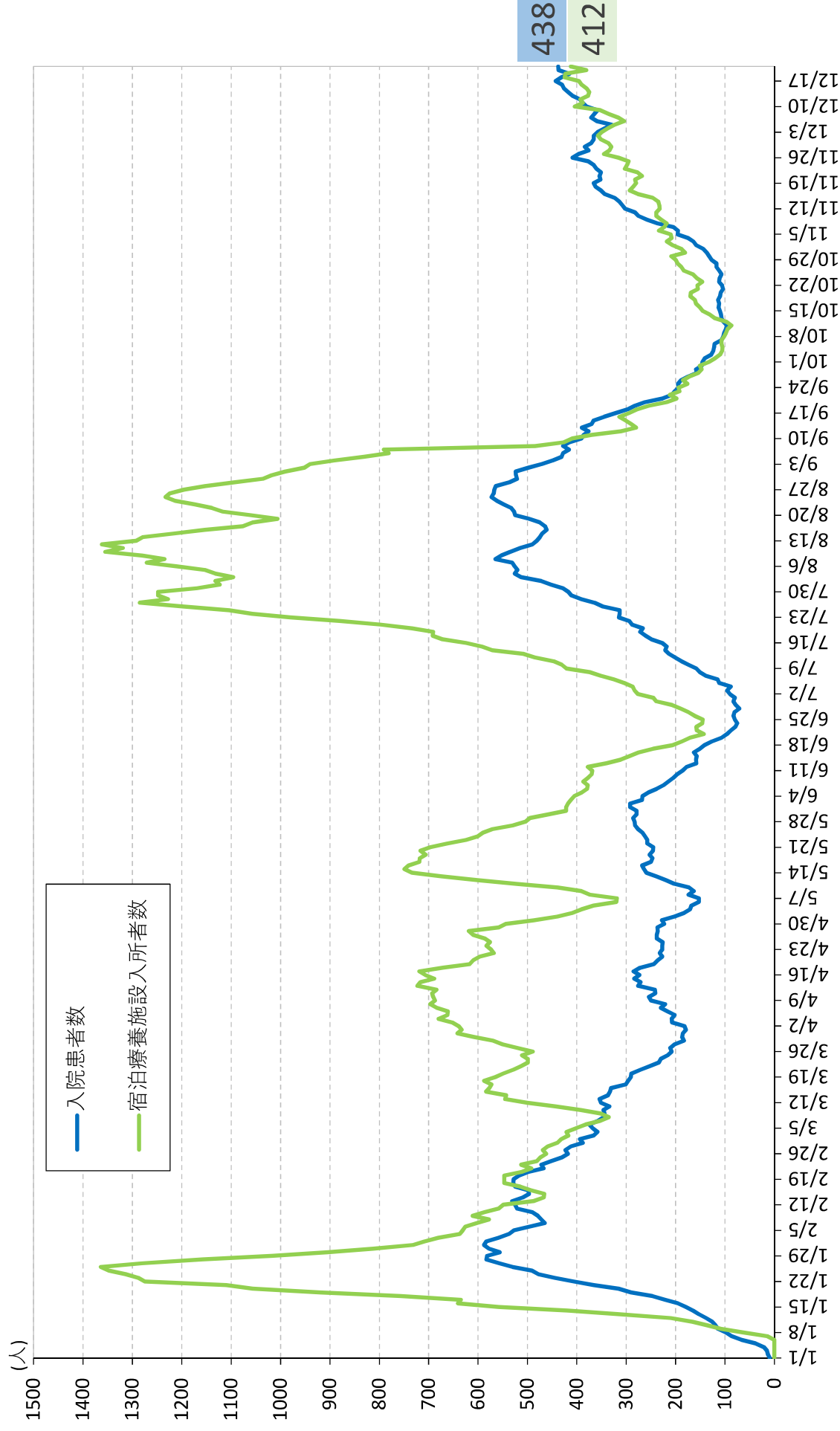
12月21日時点



※自宅療養者数は、「発生届対象者分」 + 「発生届対象外者分の推計」を使用

入院患者数、宿泊療養施設入所者数の推移

12月21日時点



市町村別の感染状況(12月22日公表分まで)

※ 順位：陽性者数・人口10万対の多い順

※ 人口：総務省統計局「令和2年国勢調査 人口等基本集計」(R2.10.1時点)

※この資料のデータは、各医療機関がハーススに入力した個別陽性者毎のデータを使用（国公表数とは一致しない）

市町村	人口	陽性者数					
		直近一週間（12/16～12/22）			第7波以降		累計
			順位	人口10万対	順位		
岐阜市	402,557人	4,853人	1	1,205.54	11	65,659人	89,973人
大垣市	158,286人	1,655人	3	1,045.58	18	26,325人	34,998人
高山市	84,419人	836人	9	990.30	27	14,477人	17,443人
多治見市	106,732人	1,256人	4	1,176.78	14	16,006人	21,339人
関市	85,283人	914人	5	1,071.73	17	13,016人	17,296人
中津川市	76,570人	841人	8	1,098.34	16	10,880人	13,873人
美濃市	19,247人	167人	32	867.67	35	2,736人	3,528人
瑞浪市	37,150人	345人	17	928.67	30	5,026人	7,334人
羽島市	65,649人	683人	10	1,040.38	21	10,446人	14,378人
恵那市	47,774人	564人	12	1,180.56	13	6,855人	8,598人
美濃加茂市	56,689人	589人	11	1,039.00	22	9,164人	14,231人
土岐市	55,348人	492人	13	888.92	34	8,124人	11,204人
各務原市	144,521人	1,960人	2	1,356.20	5	23,278人	31,193人
可児市	99,968人	895人	6	895.29	33	15,160人	22,262人
山県市	25,280人	216人	27	854.43	36	3,894人	5,135人
瑞穂市	56,388人	859人	7	1,523.37	1	10,003人	13,804人
飛騨市	22,538人	297人	21	1,317.77	6	3,477人	3,791人
本巣市	32,928人	450人	14	1,366.62	4	5,349人	7,010人
郡上市	38,997人	391人	16	1,002.64	25	6,006人	7,533人
下呂市	30,428人	311人	19	1,022.08	24	4,502人	5,175人
海津市	32,735人	302人	20	922.56	32	4,531人	5,949人
岐南町	25,881人	394人	15	1,522.35	2	4,966人	6,864人
笠松町	22,208人	215人	28	968.12	28	3,659人	4,929人
養老町	26,882人	329人	18	1,223.87	10	4,087人	5,293人
垂井町	26,402人	245人	23	927.96	31	3,734人	4,925人
関ヶ原町	6,610人	51人	38	771.56	39	759人	1,001人
神戸町	18,585人	194人	29	1,043.85	19	2,947人	3,889人
輪之内町	9,654人	75人	36	776.88	38	1,465人	1,950人
安八町	14,355人	173人	31	1,205.15	12	2,187人	2,912人
揖斐川町	19,529人	220人	26	1,126.53	15	2,905人	3,639人
大野町	22,041人	277人	22	1,256.75	8	3,812人	4,693人
池田町	23,360人	222人	25	950.34	29	3,885人	4,973人
北方町	18,139人	180人	30	992.34	26	2,977人	4,092人
坂祝町	8,071人	53人	37	656.67	41	1,483人	1,882人
富加町	5,626人	83人	35	1,475.29	3	1,019人	1,343人
川辺町	9,860人	102人	34	1,034.48	23	1,358人	1,821人
七宗町	3,402人	26人	40	764.26	40	339人	439人
八百津町	10,195人	125人	33	1,226.09	9	1,349人	1,762人
白川町	7,412人	34人	39	458.72	42	694人	904人
東白川村	2,016人	21人	41	1,041.67	20	192人	271人
御嵩町	17,516人	224人	24	1,278.83	7	2,431人	3,253人
白川村	1,511人	12人	42	794.18	37	258人	294人
県外その他						1,907人	2,838人

現在のレベル判断

資料 2

本県のレベル判断基準

下記に示した指標、保健医療の負荷の状況及び社会経済活動の状況に関する事象を勘案して総合的に判断する。

レベル		指 標		事 象
1	感染 小康期	病床使用率	30%未満	【保健医療の負荷の状況】 外来医療・入院医療ともに負荷は小さい。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人 未満	
2	感染 拡大期	病床使用率	30%	【保健医療の負荷の状況】 - 診療・検査医療機関（発熱外来）の患者数が急増し負荷が高まり始める。 - 救急外来の受診者数が増加。 - 医療従事者の欠勤者数が上昇傾向。 【社会経済活動の状況】 - 職場の欠勤者が増加し、業務継続に支障を生じる事業者が出始める。
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	1,100人	
3	医療負荷 増大期	病床使用率	50%	【保健医療の負荷の状況】 - 発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生。 - 救急搬送困難事案が急増。 (県全体で7～8件/週、圏域ごとに2～3件/週) - 医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる。 【社会経済活動の状況】 - 職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生。
		重症者数	10人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	2,800人	
4	医療機能 不全期	病床使用率	80%	【保健医療の負荷の状況】 - 膨大な数の感染者に発熱外来や救急外来で対応しきれなくなり、一般外来にも患者が殺到。 - 救急車を要請されても対応できない状況が発生。通常医療も含めた外来医療全体がひっ迫し、機能不全の状態。 - 多数の医療従事者の欠勤者発生と相まって、入院医療がひっ迫。 - 入院できずに自宅療養中・施設内療養中に死亡する者が多数発生。 【社会経済活動の状況】 - 職場の欠勤者数が膨大になり社会インフラの維持に支障が生じる。
		重症者数	25人	
		1日あたり 新規陽性者数 (1週間平均)	5,600人	

レベル判断基準における現在の状況

1 指標の状況

	12/1	12/8	12/15	12/22
病床使用率	41.9%	41.9%	47.2%	50.2%
重症者数	1	2	4	5
1日あたり新規陽性者数 (1週間平均)	2290.6	2226.3	2797.1	3134.6

2 事象の状況

(1) 保健医療の負荷の状況

事象（レベル3）	判断要素	2週前	1週前	直近 集計時	第7波 最大値
発熱外来・救急外来に多くの患者が殺到、重症化リスクの高い者がすぐに受診できない状況が発生	医療機関における1日あたり検査件数 (1週間平均)	12/1	12/8	12/15	8/22
		3,485	3,534	3,961	5,315
救急搬送困難事案が急増 ・県全体7～8件/週 ・圏域毎2～3件/週	県内消防本部における搬送困難事案件数(週計)	12/4	12/11	12/18	8/21
		全県 11 岐阜 3 西濃 0 中濃 3 東濃 5 飛騨 0	全県 25 岐阜 4 西濃 0 中濃 4 東濃 17 飛騨 0	全県 24 岐阜 9 西濃 1 中濃 1 東濃 13 飛騨 0	全県 36 岐阜 13 西濃 1 中濃 4 東濃 18 飛騨 0
医療従事者にも欠勤者が多数発生し、入院医療の負荷が高まる	入院制限を行っている医療機関数	12/8	12/15	12/22	8/21
		12	14	17	26

(2) 社会経済活動の状況

事象(レベル3)	判断要素	状況(12/14～12/16 聞き取り)
職場で欠勤者が多数発生し、業務継続が困難になる事業者が多数発生	業務継続が困難な事業者の発生状況(関係団体への聞き取り結果)	【県内商工関連団体・機関】 ・商店街の中には、本人や家族の感染により臨時休業している店舗がポツポツある。 ・コロナの影響により休業等をしている事業者はそれほど多くないという印象。 ・第7波ピーク時は、飲食・宿泊業で人のやりくりができず大変との声を聞いていたが、直近は、人員の確保ができず休業した案件が、最近1件あったと聞いた。 【県内金融関連団体】 ・行内に感染者が発生しても店舗を閉鎖する対応はしておらず、業務継続が困難な状況なし。 【県内観光関連団体】 ・小規模宿泊施設等での影響が多少あるものの、全体として大きな影響・混乱なし。 <主な事例> ・高山や奥飛騨地域の小規模宿泊施設(個人経営)で、従業員(家族)の感染により数日休館。 ・高山市内の宿泊施設内において、従業員の感染により、食事部門(レストラン)を休止し、宿泊部門に従業員を集約。

岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言

令和4年12月23日決定
実施期間：令和4年12月23日～令和5年1月22日
岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部

【感染拡大による医療現場への影響】

本県の日あたり新規陽性者数は、1週間平均で3千人を超え、病床使用率も50%前後で推移するなど、夏の第7波ピーク時に近づいています。

これに伴い、医療への負荷が大きくなっています。医療従事者への感染拡大などにより、現在、一般病棟や救急医療を制限している医療機関が19機関、救急搬送困難事案も今月だけですでに60件発生しています。

こうした事案は県内すべての圏域で発生しており、冬場の転倒、交通事故の救急措置や治療など、新型コロナ以外の「いつもなら普通に受けられる医療もすぐには受けられない」深刻な状況になりつつあります。これらは皆さんにとって決して無関係なことではありません。

＜救急搬送困難事案となった事例＞

- ・ 自宅で転倒し腰部を打撲（受入照会7回、40分）
- ・ 交通事故で意識障害、歩行不能となった重症者（受入照会4回、63分）
- ・ 入浴後、意識消失した高齢男性（受入照会5回、37分）
- ・ 刃物で指を切断（受入照会7回、39分）

※救急搬送困難事案：医療機関への受入照会4回以上かつ、現場活動30分以上の事案

【新型コロナ感染そのもののリスク】

また、感染そのもののリスクも決して軽視できません。今夏の第7波以降、県内では456人の陽性者が亡くなられています。この人数は、例えば同時期の交通事故死亡者数41人と比較しても、非常に大きいものと受け止める必要があります。

さらに、後遺症も大きなリスクです。後遺症患者の96%は感染時は軽症であったというデータもあり、その後、倦怠感、頭痛、不眠などに悩まされ、1年近く通院する例や、休職や休学を余儀なくされる例もあります。

【今後の懸念材料】

年の瀬も近づき、寒さが一段と厳しくなってきました。この時期は屋内で過ごす時間が増えるとともに換気が不徹底になりがちです。そしてクリスマス会、年越し、初詣、成人式など、普段会わない人が多く集まる行事も続きます。

私たち一人ひとりの行動次第では、ご自身やご家族の感染により、会いたい人にも会えず、救急搬送困難事案の更なる増加など医療ひっ迫により助かる命が助からない、最悪の年末年始になりかねません。

【オール岐阜による感染防止対策】

こうした事態を避けるため、本県の現状をレベル3「医療負荷増大期」と位置づけ、基本的対処方針（新型インフルエンザ等対策特別措置法18条）に基づく「岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言」をここに発出いたします。

まず、県及び市町村では、年末年始の医療・検査体制の充実など、県民の皆様の命を守る取組みを一段と強化してまいります。

また、強い行動制限に頼ることなく、感染防止対策と社会経済活動を両立させていくためには、私たち一人ひとりの感染予防対策が何よりも重要です。

さらに、現在接種を進めているオミクロン株対応ワクチンには、従来型を上回る感染予防効果や重症化予防効果が期待されています。

県民、事業者、医療機関、市町村の皆様におかれましては、ご自身やご家族など身近で大切な人を守るため、以下の対策を「オール岐阜」一丸となって徹底していただきますよう、特措法24条9項に基づき、要請いたします。

対策のポイント

1 県の取り組み

<ワクチン接種の加速化>

- 県大規模接種会場（岐阜産業会館）を1月も開設
- 市町村接種や職域接種へのサポートの徹底
- SNSなどを通じた広報の徹底

<医療体制の機能確保・強化>

- 県陽性者健康フォローアップセンターの機能強化
 - ・一日の検査キットの配送 1,000 個 → 1,500 個
 - ・確定診断可能人数 500 人/日 → 1,000 人/日
 - ・相談対応体制の強化 650 件/日 → 1,700 件/日
 - ・自宅療養をされている低リスクの軽症者のうち、診察が必要となった中学生以上の方への休日オンライン診療を導入(12/31～)
- 外来医療体制の確保・強化（後述「4 医療機関への要請」）

<検査体制の強化>

- 薬局などにおける無料検査（計 228 カ所）を1月末まで延長
- 年末年始の需要増加に対応するため、JR岐阜駅及びJR大垣駅に臨時の無料検査拠点を設置（12/24～1/12）
- 福祉施設、児童施設及び小学校の職員への予防的検査を1月末まで延長

<広報の徹底>

- 感染リスクの高い行動事例集を、ポスターやSNSにて幅広く周知

2 県民の皆様への要請

※以下、特措法 24 条 9 項による協力要請

＜感染防止対策の徹底＞

- 3～5回目（オミクロン株対応）及び小児・乳幼児への速やかなワクチン接種
- 適切なマスク着用、手指衛生、密回避、こまめな換気、体調不良の際はすべての行動ストップといった基本的な感染防止対策の徹底
- 学校・部活動、習い事・学習塾、友人との集まりでの感染に特に注意

＜体調不良時の対応＞

- 重症化リスクが低い方（高齢者、基礎疾患のある方、妊婦などと小学生以下の子ども以外の方）は、発熱外来を受診する前に、検査キットによるセルフチェックを行い、陽性の場合は、健康フォローアップセンターに登録（症状が重いと感じる場合には、電話相談や受診を）
- 夜間や休日における体調不良の際は、まずは専門WEBサイトや電話相談窓口を利用

※WEBサイト：「救急車利用マニュアル」

<https://www.fdma.go.jp/publication/portal/post2.html>

「こどもの救急」

<http://kodomo-qq.jp/>

※電話相談窓口：岐阜県健康相談窓口 058-272-8860（24 時間）

子どもの急病などの相談窓口 #8000 または 058-240-4199

- 救急外来や救急車の利用は、真に必要な場合に限る

＜検査の活用＞

- 感染者と接触があった際の早期検査
- 帰省前及び帰省先から戻った際の検査の実施（薬局や臨時の検査拠点における無料検査を活用）
- 福祉施設利用者が一時帰宅などで親族と過ごした後には検査を徹底

＜外出、飲食、イベントにおける対応＞

- 年越し、初詣といった年末年始の行事などの混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出など、感染拡大につながる行動を控える
- クリスマス会、忘年会、新年会、成人式の２次会などにおいて、飲食店で
の大声や長時間の飲食の回避、会話の際のマスク着用を徹底するとともに、大人数の会食への参加は見合わせることも含めて慎重に検討
- 大規模イベントへの参加は見合わせることも含めて慎重に検討

3 事業者の皆様への要請

＜感染防止対策の徹底＞

- ワクチン接種のための休暇の取得など、従業員やその家族が接種しやすい環境づくり
- テレワーク（在宅勤務）などの推進
- 人が集まる場所での感染対策の徹底
 - ・従業員への検査の勧奨 ・適切な換気 ・手指消毒設備の設置
 - ・入場者の整理、誘導 ・発熱者などの入場禁止 ・入場者のマスク着用などの周知
- 福祉施設における抗原検査キットなどを活用した集中的検査の推進
- 飲食店での十分な換気・座席間隔の確保またはパーティション設置
- 県内神社における初詣の際の感染防止対策の徹底
 - ・境内における飲食禁止
 - ・祈祷人数の制限や動線の制限
 - ・初詣の期日分散の呼びかけ など

＜業務継続体制の確保＞

- 住民、取引先、顧客などに対し、一時的に業務停止する場合があることやその際の対応について事前に周知するなど、多数の欠勤者の発生に備えた業務体制を確保

4 医療機関への要請

<医療体制の機能確保・強化>

○新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンとの同時接種に対する有効性・安全性の理解と接種の促進

○希望する方が医療機関を受診し、その後も安心して診療を受けられるよう、診療・検査医療機関の増加、診療時間の延長や特に年末・年始における休日診療体制の拡充など外来診療を強化

・診療・検査医療機関数

11/9 時点：808 機関 → 12/23 時点 823 機関（+15 機関）

・年末・年始(12/29～1/3 の 6 日間)における休日診療体制

R3：延べ 569 機関 → R4：12/23 時点 延べ 857 機関（+延べ 288 機関）

○濃厚接触となった医療従事者が待機期間中であっても抗原定性検査を行い医療に従事できる運用を可能な限り実施

5 市町村への要請

<ワクチン接種の加速化>

○ワクチン接種について、あらゆる媒体による積極的な広報を行うとともに、個別接種、集団接種を加速化

<感染防止対策の徹底>

○感染拡大傾向が顕著な市町村については、独自の対策を策定

※策定済み市町村：高山市、中津川市、恵那市、各務原市、飛騨市、北方町、白川村

○成人式とりわけ 2 次会における感染防止対策徹底の呼びかけ

・人との距離や会話の有無によるメリハリをつけたマスク着用

・適切な換気

・大人数の会食への参加について、慎重な検討を呼びかけ など

「それは おきゃあ！」事例

【仕事・職場】

- 多くの職員が仕事中にマスクをしておらず、休憩中もマスクなしで飲食しながら会話。職場内で複数名の陽性が判明。
- 喫煙所で4人と会話しながら喫煙（屋外、マスクなし）し、感染。
- 複数の福祉施設職員が100人単位で忘年会を開催。クラスターとなり、施設利用者にも感染が拡大。
- 出勤後に体調不良を感じた職員がいたが、軽症のため勤務を継続。寒くなったことで、職場では窓を開ける時間も短くなり、十分な換気ができておらず、感染者が発生。

【友人・仲間】

- 成人式後に大人数で会食した結果、マスクなしの会話などにより感染し、クラスターが多数発生。
- 友人4人と1台の車に乗り合わせてスキーへ。換気もマスクの着用もなく、同乗者が感染。
- 友人と喫茶店のモーニングを利用。マスクなしで会話し感染。

【家族・親戚】

- 咽頭痛があったものの、市販薬を飲み、そのまま県内の実家に帰省。検査の結果陽性と判明。家族にも感染が拡大。
- 20名近くの親族が集まり会食。後日、本人を含む参加者の陽性が判明し、家族への感染拡大により10名以上の陽性が判明。

【学校・部活】

- 大学生。友人7人と飲食をともにし、朝まで遊んで過ごし、感染。
- 室内運動系クラブに所属。昼食時に密になる場面あり。後日、複数名の陽性が判明。

12月23日(金)～
1月22日(日)

新型コロナウイルス感染症

岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言

- 12月下旬に入り、過去最大規模で感染が拡大しています。
 - 本市の人口10万人あたり新規感染者数(7日間移動合計)は、12月22日(木)時点で**1,205.5人**
 - 12月20日**には、1日あたりの新規感染者数として**過去最高**となる**1,120人**を確認
 - 県内の病床使用率は、**50%前後を推移**し、**救急搬送困難事案**※も12月に入り急増
- ※4か所以上の病院を探し、30分以上の時間をかけて、やっと受入病院が見つかる状況
- 院内クラスター発生により、一般病棟や救急医療を制限する医療機関も増加しています。
- 冬の時期は、脳卒中や心筋梗塞など生命にかかわる病気が起こりやすい時期でもあり、年末年始は特に、通常時よりも開設医療機関が少なくなるため、このまま感染が増え続けると、医療を必要とする病気に万が一罹患しても、受入医療機関が中々見つからない可能性があります。
- 県において本日、「**岐阜県医療ひっ迫防止対策強化宣言**」※が発出されました。
※新型コロナウイルス等対策特別措置法第18条に基づく
- 市民の皆様、事業者の皆様におかれましては、社会経済活動と両立し、皆様が良い年末年始を過ごされるよう、日々の感染防止対策を徹底していただきますようお願いいたします。

令和4年12月23日 岐阜市長 柴橋 正直

市民の皆様へ

基本的な感染防止対策

- 暖房中の室内でも「**こまめな換気**」を忘れずに！
- クリスマスや忘年会、新年の親族での集まり、友人の会食など、色々行事が重なる時期ですが、どんな時も、必要な場面での「**マスクの着用**」、「**手指衛生**」、「**密回避**」を実践！
- 発熱はもちろん、のどの痛み等、**少しでも体調不良の時は、全ての行動をストップ！**
- 重症化リスクが低い方※は、体調に異変を感じたら、ご自身で検査キットによるチェックを行い、陽性の場合は、岐阜県陽性者健康フォローアップセンターに登録を！
(症状が重いと感ずる場合には、電話相談や受診を)

※高齢者、基礎疾患のある方、妊婦などと小学生以下の子ども以外の方

ワクチン接種

- ワクチンには、感染予防効果や感染しても発症を予防する効果、重症化リスクを下げる効果があり、ワクチン未接種の方と比べて口や鼻から出るウイルス量が減ると言われているため、他者へ感染させるリスクを下げる効果もあります。
- 3～5回目(オミクロン株対応)及び小児・乳幼児のワクチンについて、希望される方は、速やかな接種をご検討ください。

外出、飲食、イベントにおける対応

- 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出など、**感染拡大につながる行動は控えて！**
- 飲食店での大声や長時間の飲食の回避、**マスク会食**(食事は静かに、会話時はマスク着用)**を徹底！**

検査の活用

- 感染者と接触があった際は早期検査を！

事業者の皆様へ

- ワクチン接種のための休暇の取得など、従業員とその家族が接種しやすい環境づくりをお願いします。
- 人が集まる場所での感染対策の徹底を！
寒くなる時期ですが、職場でも**十分な換気の徹底**をお願いします。